



平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月6日

上場取引所 東札

上場会社名 札幌臨床検査センター株式会社
コード番号 9776 URL <http://www.saturin.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 大井 典雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長

(氏名) 伊達 忠應

TEL 011-613-3210

四半期報告書提出予定日 平成26年8月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	4,126	0.9	86	△63.8	95	△61.4	53	△63.4
26年3月期第1四半期	4,090	6.3	238	102.7	248	94.9	146	99.4

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 56百万円 (△62.5%) 26年3月期第1四半期 151百万円 (143.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	13.49	—
26年3月期第1四半期	36.80	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第1四半期	9,175	5,838	63.6	1,467.07
26年3月期	9,189	5,824	63.4	1,463.75

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 5,838百万円 26年3月期 5,824百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	11.00	11.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	0.00	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,397	2.8	337	△24.4	343	△26.1	200	△26.0	50.49
通期	17,083	3.2	639	△29.4	647	△30.6	394	△20.2	99.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期1Q	4,216,000 株	26年3月期	4,216,000 株
27年3月期1Q	236,509 株	26年3月期	236,509 株
27年3月期1Q	3,979,491 株	26年3月期1Q	3,979,530 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、政府による経済政策や日銀の金融政策の推進を背景に企業収益の改善や個人消費の持ち直し、雇用情勢の改善が見られるなど、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。

一方で、新興国経済の成長鈍化による世界経済の不安定さや国内におけるさらなる消費税の引き上げを控え、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが拠点を構える北海道の経済におきましては、公共工事や観光などが順調に推移し、設備投資が持ち直し、雇用情勢も緩やかに改善しております。

医療業界におきましては、同業他社との競争による利益率の低下や、平成26年4月に調剤報酬改定と薬価改定が実施されたことにより、厳しい経営環境となっております。

このような状況のもと、当社グループは、新規顧客の獲得及び調剤薬局の新規出店による営業基盤の拡大に努めると共に、引き続き検査原価の圧縮に努めてまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高4,126百万円（前年同期比0.9%増）と増収になりましたが、診療報酬改定、薬価のマイナス改定及び消費税率引き上げ等により経費が増加したため、営業利益86百万円（同63.8%減）、経常利益95百万円（同61.4%減）、四半期純利益53百万円（同63.4%減）と減益になりました。セグメントの業績は次のとおりであります。

① 臨床検査事業

臨床検査事業におきましては、診療報酬の改定がありましたが、新規顧客の獲得に重点をおいた営業活動により売上高1,375百万円（同1.3%増）と増収となりました。一方、利益につきましては、検査機器及びサーバの更新等により、経費が増加したことから、セグメント利益73百万円（同23.5%減）と前年同期を下回りました。

② 調剤薬局事業

調剤薬局事業におきましては、薬価改定の影響がありましたが、新規出店と既存店舗の業績が順調に推移したことから売上高2,527百万円（同2.6%増）と増収となりました。一方、利益につきましては、薬価の引き下げに伴い売上原価率が上昇したこと及び消費税率引き上げに伴い控除対象外となる消費税の経費負担が増加したことから、セグメント利益101百万円（同58.9%減）と前年同期を下回りました。

③ 医療機器販売・保守事業

医療機器販売・保守事業におきましては、消耗品の販売が前年同期を下回ったため、売上高205百万円（同21.1%減）、セグメント損失3百万円（前年同期はセグメント損失1百万円）と売上高、利益ともに前年同期を下回りました。

④ その他の事業

臨床検査システムのソフトウェア販売及び保守の収入におきましては、売上高17百万円（前年同期比108.2%増）、セグメント利益10百万円（同234.7%増）になりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間における流動資産は6,297百万円となり、前連結会計年度末に比べ149百万円減少（前連結会計年度末比2.3%減）いたしました。これは主に商品が183百万円増加しましたが、現金及び預金が378百万円減少したことによるものであります。固定資産は2,877百万円となり、前連結会計年度末に比べ135百万円増加（同4.9%増）いたしました。これは主に工具、器具及び備品が94百万円及び無形固定資産が38百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は9,175百万円となり、前連結会計年度末に比べ13百万円減少（同0.2%減）いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間における流動負債は3,030百万円となり、前連結会計年度末に比べ15百万円減少（同0.5%減）いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が422百万円増加しましたが、短期借入金253百万円減少及び未払法人税等が199百万円減少したことによるものであります。固定負債は307百万円となり、前連結会計年度末に比べ11百万円減少（同3.6%減）いたしました。これは主に長期借入金が6百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は3,337百万円となり、前連結会計年度末に比べ26百万円減少（同0.8%減）いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間における純資産は5,838百万円となり、前連結会計年度末に比べ13百万円増加(同0.2%増)いたしました。これは主に四半期純利益53百万円及び剰余金の配当43百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は63.6%となり、前連結会計年度末比0.2ポイント増加いたしました。

また、1株当たり純資産は1,467円7銭となり、前連結会計年度末比3円32銭増加いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、売上高、利益ともに順調に推移していることから、平成26年5月13日に公表いたしました連結業績予想に変更はございません。

今後の業績への影響を見極めた上で、修正が必要と判断される場合には、お知らせいたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,250,688	2,872,272
受取手形及び売掛金	2,544,715	2,576,454
商品及び製品	481,071	664,775
仕掛品	13,854	14,602
原材料及び貯蔵品	38,966	37,397
繰延税金資産	74,577	73,386
その他	71,668	91,829
貸倒引当金	△28,558	△33,006
流動資産合計	6,446,984	6,297,712
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,850,967	1,865,218
減価償却累計額	△1,170,356	△1,183,460
建物及び構築物 (純額)	680,610	681,758
機械装置及び運搬具	32,221	33,068
減価償却累計額	△28,799	△29,193
機械装置及び運搬具 (純額)	3,421	3,874
工具、器具及び備品	2,343,061	2,388,412
減価償却累計額	△1,944,370	△1,894,750
工具、器具及び備品 (純額)	398,690	493,662
土地	903,818	903,818
リース資産	79,122	52,694
減価償却累計額	△48,277	△27,543
リース資産 (純額)	30,845	25,151
建設仮勘定	2,569	—
有形固定資産合計	2,019,955	2,108,264
無形固定資産		
その他	57,879	96,110
無形固定資産合計	57,879	96,110
投資その他の資産		
投資有価証券	134,903	140,158
長期貸付金	18,114	16,862
長期前払費用	22,525	23,502
差入保証金	309,415	312,687
繰延税金資産	129,434	128,452
その他	166,076	167,557
貸倒引当金	△116,241	△116,057
投資その他の資産合計	664,228	673,163
固定資産合計	2,742,063	2,877,538
資産合計	9,189,047	9,175,251

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,150,111	2,572,920
短期借入金	281,489	27,996
リース債務	13,894	10,694
未払法人税等	245,373	46,118
賞与引当金	111,390	54,208
未払金	103,134	117,613
その他	140,227	200,483
流動負債合計	3,045,620	3,030,035
固定負債		
長期借入金	60,690	53,691
リース債務	19,437	16,471
役員退職慰労引当金	49,512	50,484
退職給付に係る負債	12,790	12,990
長期未払金	169,882	167,265
その他	6,124	6,124
固定負債合計	318,437	307,026
負債合計	3,364,057	3,337,062
純資産の部		
株主資本		
資本金	983,350	983,350
資本剰余金	1,015,270	1,015,270
利益剰余金	3,905,210	3,915,108
自己株式	△98,568	△98,568
株主資本合計	5,805,262	5,815,160
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	19,727	23,029
その他の包括利益累計額合計	19,727	23,029
純資産合計	5,824,989	5,838,189
負債純資産合計	9,189,047	9,175,251

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	4,090,778	4,126,299
売上原価	2,866,031	2,964,665
売上総利益	1,224,746	1,161,634
販売費及び一般管理費	986,715	1,075,392
営業利益	238,030	86,241
営業外収益		
受取利息	353	316
受取配当金	2,694	4,454
受取賃貸料	9,638	8,892
その他	9,111	7,496
営業外収益合計	21,798	21,159
営業外費用		
支払利息	778	427
賃貸収入原価	10,276	9,851
その他	135	1,164
営業外費用合計	11,189	11,443
経常利益	248,639	95,957
特別損失		
固定資産除却損	185	40
特別損失合計	185	40
税金等調整前四半期純利益	248,454	95,917
法人税等	101,993	42,245
少数株主損益調整前四半期純利益	146,460	53,672
四半期純利益	146,460	53,672

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	146,460	53,672
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,487	3,301
その他の包括利益合計	5,487	3,301
四半期包括利益	151,948	56,973
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	151,948	56,973

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	臨床検査 事業	調剤薬局 事業	医療機器 販売・保 守事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,358,924	2,463,206	260,288	4,082,419	8,358	4,090,778
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	154,816	154,816	343	155,159
計	1,358,924	2,463,206	415,104	4,237,235	8,702	4,245,938
セグメント利益又は損失 (△)	95,524	246,664	△1,826	340,362	3,102	343,464

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、臨床検査システムのソフトウェア販売及び保守による収入を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	340,362
「その他」の区分の利益	3,102
セグメント間取引消去	1,404
全社費用(注)	△106,838
四半期連結損益計算書の営業利益	238,030

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務部門等管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	臨床検査 事業	調剤薬局 事業	医療機器 販売・保 守事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,375,924	2,527,549	205,419	4,108,893	17,406	4,126,299
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	224,974	224,974	348	225,322
計	1,375,924	2,527,549	430,393	4,333,867	17,754	4,351,622
セグメント利益又は損失 (△)	73,103	101,320	△3,013	171,411	10,385	181,796

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、臨床検査システムのソフトウェア販売及び保守による収入を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	171,411
「その他」の区分の利益	10,385
セグメント間取引消去	1,864
全社費用(注)	△97,419
四半期連結損益計算書の営業利益	86,241

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務部門等管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。